えあう多様なコミュニティづくり支援事業「採択内定実行団体」一覧

No	実行団体名	本拠地	団体URL	活動対象地域	事業名称	事業概要	助成額	審査のコメント
1	NPO法人せいしとらんし熊本	熊本県熊本市	https://www.seirankumamoto.com/	熊本県	未来輝くいのちを慈しむハイブリット包括的性教育と相談事業	コロナ禍でさらに加速、表面化した適切な性教育不足による性的トラブルを予防するため、熊本県下の小学生たちがハイブリット形式で包括的性教育で「性＝生」について学ぶことができる。オフラインでは性教育本が身近にあることで自然と学ぶことができ、実際に性的トラブルにあった場合や、不審に思う性的な出来事にも、安心して相談できる窓口を知ることで一人だけで悩むことが少なくなる。さらに、小学生の保護者は、地域や学校に子どもたちの性教育に対してどのような願いがあるのか調査結果が出ることで、要望を行政に届けられる。	5,000,000	性教育に特化していてわかりやすかった。●連携と対話が具体的で分かりやすかった。●いろんな施設に絵本を置いて、せいしとらんしさんとの接点ができていくのが良い。他の団体と違うところ。●包括的性教育と言う所の考え方が①人間関係、②価値観、人権、文化、セクシュアリティー、③ジェン ダーの理解、④暴力と安全確保、⑤健康とウェルビーイング(幸福や喜び)のためのスキル、⑥人間の体と 発達、⑦セクシュアリティーと性的行動、⑧性と生殖に関する健康の、一般的な性教育として扱われる ⑥⑦⑧だけでなく、①～⑤も大事な部分である、といったところがなるほどと納得した。また、代表 1 人 ではなくチームで分担して取り組んでいくのも高評価。関係者との対話や連携は今後に期待するところ である。●「包括的性教育」の考え方が、従来の性教育の観点と違って、子どもたちからの視点であり、非常に有 意義な事業だと思った。
2	「やっちろ保健室」 運営協議会	熊本県合志市	http:s//osekkai.love/	熊本県	お世話役を発掘＆育成し、コミュニティを継続できる仕組み作り。	熊本県内でのお世話役を発掘＆育成するために仕組みを作ることで、地域包括ケアシステムの構築が進み、地域で安心して暮らすことができる状況になる。そのために、横のつながりをもつためにも同じツール「人材育成プログラム」を大学の監修のもとに作ります。	4,765,000	プログラムを作っていくプロセスに楽しみがあると感じた。●学びの教材を作る部分に予算を取られていたが、作ったものにどのようにアクセスしてもらうかをもっと聞きたかった。●「さえぇひと」という、人材のプラットフォームを整備するために、いろんな団体の枠を超えていろん な人材を登録する、というのは、連携と対話の可能性を感じた。一方でコミュニティーの範囲がわかりにくかった。どのようにコミュニティを作っていかは、今後に期待する。●すでにネットワークがかなり強化されつつあるのを感じた。団体法人化まで計画的に考えられている と感じた。
3	子育てネットワーク 「縁側moyai」	熊本県熊本市	https://engawamoyai.localinfo.jp/	熊本県	支えあってみんなで子育て	子育てママ向け交流と親睦の場「basho（イバショ）」と、子連れワーキングスペースを新規に企画開催。一部のイベントは託児サービスを実施し、従来のサークル活動の充実と併せ、息抜きと仲間を見つける交流機会を創出することで、孤立した子育て環境の改善、精神的肉体的負担の軽減を図り、支援ニーズの把握につなげる。また、企画運営に関わるスタッフを増員し、活動の充実と、子育てママたちの社会との関係性ややり甲斐、交流機会の創出につなげる。 加えて、今後の活動充実のための他の子育て支援団体への視察研修や講演会、新規に支え合いの輪を広げるための活動紹介ツールの整備に取り組む。	4,890,763	●期待感が持てる内容でわかりやすかった。受講者が指導者になっていくという継続性の イメージをハッキリ持っていることが評価できた。●予算に、視察に関する経費が占める割合が大きかったので、視察したものはどのように活 かされるかの部分が物足りなかった。また、長年活動されている団体なので出来上がったコ ミュニティーに新しいママが入りやすい仕組みができているかを質問したかった。●居場所＝拠り所であり、物理的な場所ではなく、それぞれの拠り所を作っていくという部 分が評価できる。そういう形の居場所の展開は広がっていきそうだという期待を持った。運 営のやり方については、常勤スタッフではない形をとり支え合う仲間で運営を工夫してい くというのは、子育て当事者がやっている団体らしい運営で、継続性がある。旅費の使い方 の変更は、近くの団体には出向いて遠くの団体には来てもらうということだったが、視察の 形は、もう少し良い形を見つけられると良い。●コロナ禍の中で特に子育て中のママたちのニーズがあると感じた。そこで支えてもらっ た人が支える側に求められるという循環があることで活動の広がりに期待ができる
4	子ども支援活動ボランティアグループ ゆめの絆=わらびかみ（童神）	熊本県天草市		熊本県天草市	官と民が協働で子ども達を真ん中にした地域共生の居場所つくり	天草では、地域で子どもたちを育む居場所づくりを推進するため、地域や企業、農家などから寄付食材を受け入れ、各居場所に必要な食材を提供するための支援体制の構築が急務である。そのため、天草管内の子ども食堂や居場所活動団体でネットワークを結成し、新規の子ども食堂等の開設支援や持続可能な運営をしていくための支援をするとともに、窓口となる当団体の組織強化や啓発活動を行う。あわせて、子ども食堂の開催や各居場所での制服リユースや相談活動、児童養護施設訪問活動を高齢者ボランティアと共に行うことで、子育て世帯の支援のみならず高齢者の「生きがい、やりがい」に繋がる取り組みを実施する。	4,998,985	●人口減少問題を抱える天草において実績ある団体で、期待が持てる。●子供とシニアの異世代間交流を推進することで活性化につなげよう、という部分が特徴 として感じた。●具体的で分かりやすかった。付け加えるなら、例えば NPO 法人子育てネットワークわ・わ・わさんとのコラボなど、天草地域の既に活動されている団体との連携について話があ とよかった。●行政と民間の担う部分の整理と、地域コミュニティの核が必要という部分が、課題の分析 を丁寧にしていると感じた。広い天草地域でどんなことをどんな順番でやるかの戦略性が 考えられているところが評価のポイント。一方で、ネットワークを作っていくところは、具 体性が欲しかった。●天草の方で特にこういうニーズがあると改めて認識した。その中で天草地域が一体となって取り組もうとされている。SDG's も取り組みに入れられている点が良かった。
5	一般社団法人オルタナ	熊本県熊本市	http://www.orutana.info	熊本市	農福連携の経験を地域コミュニティづくりにつなぐモデル事業	A)コミュニティ農園 ①「ここに居ていいんだ」という居場所感が持てるよう、自信をつけていく農作業プログラムを準備します。 ②「みんなと協力し合おう」という相互協働がすすむよう、チームによるリハビリプログラムを考案し配置します。 ③工賃を得るまでに熟練して社会参加が実感されるよう、労働環境を整えます。 B) 相談支援者ネットワーク ①制度から漏れる人の困難解決のために有効な相談支援の方法を研究します。 ②「だれひとり取り残さない」相談者の相互協働を図る相談支援者ネットワークを結成します。 ③相談支援者ネットワークの拠点機能を持ちます。 C) 上記事業推進のための研修（講座）と事例視察を行います。	10,000,000	●農福連携の実績もあり、なぜ農園なのか？という説明の部分について自分たちでしっかりわかってい るというのが高評価だった。●現在の位置からこれからの見通しの中で、相談支援者というところの協調がすごく印象的だった。そ のつながりを快く感じた。●農福連携の実績もあり、ここならやってくれるという期待がある。●相談支援者の在り方やネットワークを、この事業を通じて変えていくか、どういう風に相談を受けて いくか、記録が重要という質問もしたがしっかり考えられて答えられているので、そこを丁寧にやって もらいたい。休眠預金事業としての効果を期待している。●農業に特化したネットワークを広げてさらに強化し、実行可能性という意味でも法人化までつなげて ほしいと思う。
6	NPO法人NEXTEP	熊本県合志市	https://www.nextep-k.com	合志市・菊陽町・大津町	すべての子どもたちに安心できる居場所と生きる力を	★NEXTEPの5拠点(合志、菊陽、熊本市)を活用し、さまざまな困難を抱える子どもたち(若者)の居場所づくりと住居支援、生きる力へのきっかけづくりとなる体験学習や活動を提供 ★支援付きシェアハウス(2階が居住スペース、1階交流スペース)を整備し、困難を抱える若者の巣立ち支援 ★既存のこども食堂等と連携し、複数の「体験学習」スクールソーシャルワーカー、小児科医による定期的な「無料相談会」「学習支援」とスポーツ大会」「子ども食堂」などを多面的に展開 ★自前のプログラムで完結させず、高校生以上には地域企業での体験など、外部に頼り、公的サポートにも繋げるなど、支援の生態系を意識し展開	9,664,000	●これまでの実績に裏付けされた自信のようなものを感じた。プレゼンを含めてやってく れるという安心感があった。●伴走型のプロジェクトを今後どうやって行くかということでチャレンジしている と感じた。●強いニーズがあるのかという疑問はあるが、団体の実績などを考えると実行可能性や継 続性という面で高得点。●多岐にわたる事業を展開するのて本当にできるんだろうか、事業内容が多いので、計画通 りにできるかという懸念はある、積み上げてきた実績があっての事業計画なので、特居住支 援というのは社会的ニーズの高い部分であり、他の団体でもできるモデルケースにするということなので、今後の広がりにも期待したい。●ハード的な事業も、ソフト的な事業もでもやっていくということなので、大変だとは思う が期待したいと思う。
7	株式会社　南阿蘇ケアサービス	熊本県阿蘇郡南	https://www.minamiasocare.com/	阿蘇郡域	南阿蘇を「もっと好きに、もっと元気に」地域まるごと事業	馴染みの場、そば道場跡地を利用して住民に運動と栄養、社会参加へのアプローチの場を作ることで、 ●フレイル傾向の高齢者や生活習慣病の予防が必要な中高年者は運動の指導と栄養バランスの良い食事の提供で健康な状態を取り戻しつつある。また、高齢者は外出頻度も増え、人との交流も増えている。新鮮な卵等の直売所の併設に加え、送迎があることで自分で買い物もできる機会が増えている。 ●子どもたちは遊び、共食、世代間交流ができることで共育の場となる。 ●中高生はゲームとの付き合い方を学び、閉じこもりを予防し、健全に育つことができる。 ●障がい者や障がい児も一緒に食事やイベント等を行うことで、共生の場ができる。	9,980,962	●もし申請が通らなくても、自分たちでやろうという覚悟が感じられたところが高評価。●南阿蘇という地域でシームレスケアにチャレンジするというのがとても印象的だった。 ●予算を見ると機械類の購入が多いが、具体的な値段を示しているのでちゃんと見積もりを取って計画 を立てているようだ。もうすこしクリエイティブに寝ってほしいとも思う。確かに自分たちがやるという覚悟が見えた。●路地利用で拠点整備ということは理解した。休眠預金事業としてやるのはソフト部分であるが、その ソフト部分であるシームレスケアの中身がまだよく見えない。しかし、まずはやってみて、変化しなが ら、多世代のつながりという部分はなるほどと思った。プログラム作成の部分に注目したいと思う。●ハード面がすでにあるという安心感がある。南阿蘇の拠点となってほしい。
8	一般社団法人sol	熊本県阿蘇郡高	http://sol-momo.com/	熊本県阿蘇郡高森町	もう一度繋ぎ直す、廃校活用したおもやいの居場所作り	①地域住民が求めていること、コロナによる困りごと調査 ②昨年度開始した不登校児の居場所の安全と快適性確保のための屋根交換 ③発達障がい児や発達が気になる子が安心して体を動かせる場づくり（作業療法士による感覚統合療法） ④障がい児・不登校児の親が一息つけて相談もできる場・地域の憩いの場づくり（カフェ） ⑤もともと人とあまり交流しない人が、体を動かしたり自分の役割を見つけたりしながら人と交流するきっかけを作れる場づくり（ジム） 上記②～④は地域の廃校で実施し、継続的に地域住民がここに通いたくなるような仕組みづくりを行う。	10,000,000	●薪割りなどの具体的なアクティビティからアイデアをつないでいって、作業療法士の専門性を加える というアイデアは大切だと思う。そういった統合していく力は期待したい。 ●廃校利用の居場所づくりをして、そこでいろんなプログラム展開というイメージは分かるが、もう少 し具体性が必要。作業療法士さんのかかわりは見えるが、イメージ図を見るともう少し他の分野の人と のかかわりが必要ではないかと思い、質問をしてみたが、結局引き継ぐ団体の名前しか出てこなかった ので、もう少し広がりが必要。●作業療法士を中心とした新たなネットワークに期待したい。
9	一般社団法人フミダス	熊本県熊本市	http://www.fumidas-project.com/	熊本市・人吉市	高校生・大学生のキャリア形成を支援するコミュニティづくり	コロナ禍でよりキャリア形成の機会を失っている高校生、大学，2年生の課題を解決する取り組みを実施する。事業実施エリアとしては主に若者の人口が多い熊本市及び2年前の熊本豪雨災害で被害が大きかった人吉市で実施。事業内容としては①高校生及び大学，2年生を約120名を対象にしたキャリアを考え学ぶための研修及びインターンの実施 ②高校生及び大学，2年生を対象にしたキャリアを考え学ぶための研修及びインターンの開発 ③産学官連携したキャリア形成のためのインターンの仕組みづくりのための定例の意見交換の実施（熊本市フィールド、人吉市フィールドでそれぞれ2か月に1回程度開催）などを行う。	9,998,420	●プレゼンの熱意は伝わってきた。内容がキャリアプログラムということで、助成金の主旨に合ってい るのかは疑問はあるが、若者が地域に残るならば意味がある。●熊本市と人吉地域で成果を図ろうとしているが、つながりが弱いと感じたので、「離れていてもつながっている」という部分を期待したい。●対象が若者や高校生ということで、対象が他の団体とは違う点は評価した。地域が人吉対象というのも良い。ここならやってくれると思う。●若者のキャリアデザインプログラムとしてはすでに完成されている物。コミュニティづくりとして は確かにその要素は弱いと思うが、若者が地元の良さを再発見する、地域とのつながりという部分で期 待した。●コロナ禍で就職難というのは実感している。他にない対象というところで特徴を感じた。まずはモデ ルとして熊本市人吉地域で実施してもらい、他の地域へと広げてほ
10	ワールドフレンズ天草	熊本県天草市	https://wf-amakusa.com/	熊本県天草地域	社会資源に繋がれない外国人のためのアウトリーチ型支援事業	これまで在住外国人は既にある公共の福祉や警察や消防、病院などの社会資源に繋がることができず、命に係わる深刻な事態に陥る等、安心して暮らせる環境になかった。コロナ禍の影響で外国人は、地域から孤立し状況は更に悪化している。安心して暮らせる仕組みを構築するために本事業を実施する。 ①居場所づくり：顔の見える場を設定する事により孤立を防ぐ。当事者が活躍できる場の創設。異文化理解の場。 ②支援員養成：相談対応と日本語教室運営のスキルを持つ支援員の養成。広域な天草地域でアウトリーチ支援を実現する基盤とする。 ③雇用に関する情報整備：これまでどこも持たなかった外国人雇用企業に関する情報整備に取り組む。	10,000,000	●助成事業が多様なコミュニティづくりということなので、対象となる人にもバラエティが必要だと思 う。そこを踏まえて対象が外国人という事業は重要だと思う。●多様なコミュニティは大切で、資料を見ると数字的なエビデンスも含まれ、質問に対する答えも的確 だった。●こういった助成事業だと、HP などを活用するのが多いが、アウトリーチという自分たちが行くという 姿勢が良いと思う。予算の使い方も具体的で高得点。●評価するポイントは 3 つある。①居場所のとらえ方として、日本語教室がベースになっているという 部分で、ワンストップの窓口になっていると思われる。②相談内容は団体の分野を越えていくことも想 定しており、暮らす人に必要な支援を広げる取組なので重要だと思う。③外国人を雇用する企業の調査 も進めるとのことで、企業の社会的価値を上げていくことになる。それが関わる人を広げていくことに もつながり、地域の多様なコミュニティづくりに期待が持てる。●外国人というテーマも大切である。今までの活動もされてきているので、どうステップアップされる のか期待している。